

## 令和2年度福島県献血推進計画実績（抜粋）

### 第1 令和2年度に献血により確保すべき血液の目標量

#### 1 献血により確保すべき血液の目標量

##### (1) 需要見込量

令和2年度の輸血用血液製剤は赤血球製剤106,253単位、血漿<sup>しょう</sup>製剤28,700単位、血小板製剤109,970単位が必要と見込まれる。

##### (2) 献血目標量

東北六県で必要とする血液（原料血漿<sup>しょう</sup>を含む。）を各県で按分して確保するため、令和2年度に献血により本県において確保すべき血液の目標量を、200mL献血が304リットル、400mL献血が20,392リットル、血漿成分献血が7,803リットル、血小板成分献血が4,855リットルの計33,354リットルとする。

計画に対する実績（令和3年3月末現在）		（前年同期比）	
200mL献血：	273.00L	達成率 89.8%	対前年比 74.2%
400mL献血：	20,239.20L	達成率 99.3%	対前年比 100.0%
血漿成分献血：	8,731.40L	達成率 111.9%	対前年比 113.2%
血小板成分献血：	5,038.79L	達成率 103.8%	対前年比 99.0%
合 計：	34,282.40L	達成率 102.8%	対前年比 102.6%
原料血漿確保量：		89,200.00L	達成率 106.9% 対前年比 117.8%
* 原料血漿確保量及び達成率については、東北ブロックにおける実績			

### 2 全血献血及び成分献血の実施方法

#### (1) 全血献血（200mL、400mL）

全血献血は、県内の各市町村を巡回する福島県赤十字血液センター（以下、「血液センター」とする。）の移動採血車による確保を主体とする。血液センター（固定施設）においては、Rhマイナス型や緊急時の全血献血への対応と併せて、通常的全血献血、特に400mL献血の確保にも対応する。

計画に対する実績（令和3年3月末現在）		（単位：L）	
	移動採血車 （市 町 村）	血液センター	合 計
目 標	16,556.8	4,139.2	20,696.0
全血献血量	16,243.6	4,268.6	20,512.2
目標達成率	98.11%	103.13%	99.11%

## 第2 前節の目標量を確保するために必要な措置に関する事項

### 1 献血に関する普及啓発活動の実施

#### (1) 献血推進キャンペーン等の実施

県は、特に必要性が高い400mL献血及び成分献血の推進及び普及のため、7月に「愛の血液助け合い運動」を、1月から2月までに「はたちの献血キャンペーン」を実施する他、血液の供給状況に応じて献血推進キャンペーン活動を緊急的に実施する。また、テレビ、SNSを含むインターネット、ポスター等様々な広報手段を用いて、県民に献血への理解と協力を呼びかけるとともに、献血場所を確保するため関係者に必要な協力を求める。

#### 愛の血液助け合い運動（7月1日から同月31日まで）

##### 実施状況

- ・県内全域において、別紙のとおり運動を実施した。

月 日	市 名	献血者数	200mL	400mL
7月 5日 (日)	福 島 市	52	0	52
7月 5日 (日)	南相馬市	125	0	125
7月 9日 (木)	白 河 市	170	16	154
7月10日 (金)	相 馬 市	58	0	58
7月11日 (土)	田 村 市	49	0	49
7月12日 (日)	二本松市	49	0	49
7月12日 (日)	郡 山 市	53	3	50
7月19日 (日)	本 宮 市	111	1	110
7月19日 (日)	会津若松市	89	4	85
7月26日 (日)	須賀川市	111	0	111
7月26日 (日)	いわき市	106	3	103
7月27日 (月)	伊 達 市	144	0	144
7月30日 (木)	喜多方市	70	0	70
計		1,187	27	1,160

#### はたちの献血キャンペーン（令和3年1月から同年2月まで）

##### 実施状況

- ・市町村等関係機関に対して、文書等による事業の協力依頼を行った。
- ・ポスターを市町村、高等学校、福島県献血推進協力会等に配布をした。
- ・ラジオの県政広報番組や新聞を活用した広報等を行った。

## (2) 若年層の献血への理解を深めるための普及啓発

県、市町村及び血液センターは、地域の実情に応じて、若年層の献血への関心を高めるため、学校等に対して、ボランティア活動である献血について情報提供や学生献血推進ボランティア等の同世代からの働きかけの支援を行う。

### 実施状況

- ・県内各高等学校において、献血セミナー等を開催し、県及び血液センターから、輸血医療の現状や献血の必要性について説明した。

## 2 献血功労等の顕彰

(1) 県は、献血事業に功労のあった団体又は個人に対して福島県知事感謝状を贈呈する。

### 実施状況

- ・令和2年10月14日に福島テルサで行われた令和2年度健康ふくしま21推進県民表彰式において、献血事業功労知事感謝状を10団体に贈呈した。

1	株式会社ベイシア安達店	(二本松市)
2	アサヒ電子株式会社	(伊達市)
3	二見屋工業株式会社	(須賀川市)
4	笠原工業株式会社	(須賀川市)
5	株式会社鈴木建設	(白河市)
6	株式会社坂内セメント工業所 原町工場	(南相馬市)
7	福島中央ライオンズクラブ	(福島市)
8	福島アビオニクス株式会社	(郡山市)
9	東日本旅客鉄道株式会社 郡山総合車両センター	(郡山市)
10	イオンいわき店	(いわき市)

(2) 県は、市町村の協力を得て、国が開催する献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰等に対し、積極的に該当団体等を推薦する。

### 実施状況

・第56回献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰状候補者として3団体、同感謝状候補者として5団体を推薦し、受賞した。  
なお、例年、福島県赤十字血液センターで開催していた表彰状等伝達式は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見合わせ、個別に伝達を行った。

#### 1 厚生労働大臣表彰状（3団体）

月電工業株式会社 月館工場 (伊達市)

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社  
メディカルカンパニー 須賀川事業所 (須賀川市)

株式会社トプコンオプトネクスス (田村市)

#### 2 厚生労働大臣感謝状（5団体）

株式会社ヨークベニマル 伊達店 (伊達市)

株式会社白河川島製作所 (白河市)

協栄サーキットテクノロジー株式会社 (矢吹町)

株式会社福島銀行 (福島市)

いわき市信用組合 本店営業部 (いわき市)